



## 3.山口県で農業をはじめめるステップ

山口県では、県・市町・団体などが一体となって、相談から研修、就農、定着まで一貫して支援します。

### ステップ1・2

### 相談・就農までのイメージづくり

- 就農相談会やセミナーに参加し、情報収集をしましょう。
- 自分はどのように農業で生計を立てるか考えましょう。

**自営就農**：経営者となり、農畜産物の生産～出荷・販売を行う

**法人就業**：農業法人に就職し、農畜産物の生産～出荷・販売までを行う

○ 農業を始めたいと思ったきっかけ(動機)をよく考え、農業を開始するための準備をしましょう。

### ステップ3

### 体験（自営・法人共通）

- 農業体験、農業インターンシップ、県立農業大学校で実施する研修に参加し、就農へのイメージを具体化しましょう。

### ステップ4

### 具体的な相談

- 就農候補地を決めたら、市町担当課、県農林水産事務所・農業大学校などに具体的な相談をし、就農場所や就農形態(自営就農または法人就業)を決定しましょう。

### ステップ5

### 就農の準備・研修

- 農業(就農・就業)を始めるために必要な知識・技術を身に付ける研修を受けましょう。  
(農業未経験者は県立農業大学校の研修がオススメ! 地域の農家の下で、実践研修もできます)
- 支援1** 研修期間中、要件を満たせば、最長2年間、農業次世代人材投資資金(準備型)等が交付されます。  
(年間最大150万円)

**担い手支援日本一!**山口県では、50歳以上の方も支援!

#### 自営就農(詳細はP8へ)

研修中に、就農する農地や住居を探すと同時に、経営を開始するための計画を作成しましょう。

市町長から就農計画を認定されると各種制度の支援対象になります。

**支援2** 市町・県なども計画作りを支援!

#### 法人就業(詳細はP10へ)

自分の栽培したい品目や地域・働き方にあう、農業法人を探しましょう。

また、農業法人で働くために必要となる知識・技術・資格などを身に付けて、準備をしましょう。

### ステップ6

### 自営就農

- 地域の農家や関係機関と連携して、農業を開始!
- 支援3** 技術のプロの指導で経営安定に向け支援。
- 支援4** 要件を満たせば、必要な農業次世代人材投資資金(経営開始型)を最長5年間交付します。  
(年最大150万円)
- 支援5** 各種資金の融資や農地利用料や機械・施設などの整備費用を支援します。

### ステップ6

### 法人就業

- 農業法人などで採用され、農業を開始!  
(法人の仲間だけでなく、地域農家や関係機関との連携も大切に)
- 支援6** **担い手支援日本一!**  
就業者が働きやすい環境作りを支援します。  
○ OJT研修費を最長5年間支援します。  
○ 新規就業者を受入れるための機械施設・住宅整備を支援します。

# 農業を始めたい!



と思ったとき、よく考えてほしいことがいくつかあります。  
「職業としての農業」を選ぼうと思ったのであれば、次の5つの  
「クエスチョン」で自分の考えをよくチェックしてみましょう。

## 農業を始める前に…あなたの熱意は本物ですか?

### 5つのクエスチョン



#### Q1. 農業を始めたい動機は、何ですか?

農業は、自然相手の仕事であり、思いがけない災害対応など目に見えない多くの努力が必要です。  
「田舎暮らしがしたい」「自然とふれあいたい」「会社勤務より楽に見える」など思いつきや現実逃避の就農では、家族や周囲の農家にも迷惑がかかるだけです。「農業で生計を立てたい」と本気で思っていますか。

#### Q2. 職業人としての技術や知識は習得していますか?

農業を始めることは、経営者として新しい事業を起こし事業展開することです。会社員となり1ヶ月後に給料がもらえるサラリーマンとは違います。  
専門的技術と経営管理能力を身につけ、具体的な経営計画を立て目標に向かって、努力する熱意と行動が大切です。

#### Q3. 家族の理解と協力が得られますか?

農業を始めることは、農村で生活するという点でもあり、都会とは違い不便に感じることもあります。  
農業は、一人作業では能率も悪く、楽しくありません。家族の理解と合意、協力があって継続することができます。就農を希望する地域へ家族で行ってみることも大切です。

#### Q4. 相当な開始資金が必要となることを知っていますか?

販売収入を得るまでの期間は、作物によって違いがあり、また、安定した収入が得られるまでには、長い期間がかかります。  
農業で生活できるようになるまでは、2・3年から数年を要するため、当分の生活資金や初期装備資金などに充てる自己資金を確保しておく必要があります。

#### Q5. 人付き合いについては、どうですか?

農業をするには、また、農村で生活するには、周りの方の協力が必要となることが多くあります。  
そのため、地域での諸行事には積極的に参加し、人々と付き合う努力が大切になります。